

安樂川村文書Ⅱ目録

(那賀郡桃山町)

目次

解題

| | |
|---------------------------|----|
| 1 伝来と受け入れの経緯 | 36 |
| 2 安楽川村と大字元地区について | 36 |
| ① 那賀郡元村の成立まで | 36 |
| ② 戸長役場と元村 | 36 |
| ③ 那賀郡安楽川村の成立以降 | 36 |
| ④ 元地区の小字名 | 36 |
| ⑤ 村内寺社 | 36 |
| 3 津田正朔と津田家について | 39 |
| 津田雄三郎 | 39 |
| 津田正朔について | 39 |
| 4 文書群の概要について (I・II総合) | 40 |
| 5 文書群の特色について (安楽川村文書II) | 40 |
| 救荒願関係文書について | 40 |
| 村長の日誌について | 40 |
| 山論と共有山について | 40 |
| 6 目録上の項目編成について (安楽川村文書II) | 68 |
| 7 文書の整理と状態について | 70 |
| 8 その他文書・参考文献 | 71 |
| 目録 (安楽川村文書II) | 73 |
| 近現代村文書 | 73 |
| 一、第三大区 (道路検査安楽川井取締) | 73 |

| | |
|-------------------------------|----|
| 二、元村・同地区関係文書 (小路・加和村含む。「村」文書) | 73 |
| ① 村一般 | 73 |
| ② 学事 | 74 |
| 三、明治一七年以前の戸長役場文書 (元村・市場村組合) | 74 |
| ① 役場 | 74 |
| ② 諸税费取集 | 75 |
| ③ 免租・救恤 | 76 |
| 四、明治一七年以降の戸長役場文書 (九ヶ村聯合戸長役場) | 77 |
| 役場 | 77 |
| 五、安楽川村役場文書 (明治一二年以降) | 78 |
| ① 兵事 | 78 |
| ② 土地・官有地 | 78 |
| ③ 未納・救恤 | 78 |
| ④ 村長日誌 | 79 |
| ⑤ 共有山 | 83 |
| ⑥ 小学校建築 | 84 |
| ⑦ 区裁判所建築 | 85 |
| ⑧ その他 (茶業組合・消防) | 85 |
| 六、その他 | 86 |
| 津田家に関する文書 | 86 |
| ① 家 (近世文書を含む) | 86 |
| ② 個人 (政之) | 87 |
| ③ 信仰・講 | 87 |
| その他文書 (日赤収納通知) | 88 |
| 分類不明文書 | 88 |

安楽川村文書II 解題

1 伝来と受け入れの経緯

2 旧安楽川村元地区について

3 津田正朔と津田家について

4 文書群の概要について（I、II 総合）

以上については、36ページからの「安楽川村文書解題」で述べている。

5 文書群の特色について（安楽川村文書II）

「村」に関する文書が大部分を占めていた「安楽川村文書I」に対しこの「II」は、役場関係の文書が大勢を占める。中でも安楽川村役場文書は点数も多くまとまっているので、当時の行政を知る手がかりとして重要である。

以下に中でも特徴のあるものについて説明を加える。

救荒願関係文書について

明治一七（一八八四）年前後の文書には、救荒願や地租免除関係など救恤に関する文書がある（文書42・52・60・67・190）。明治一六年はまれに見る早魃で、和歌山では七月一八日から五七日間連日気温は三〇度を越え、雨も少なく七月一九日から三一日間雨が降らなかった。紀ノ川流域のこの地域も、農作物などが被害をうけた。救荒願の文書は、この被害のため本年の地租を庁（県）布第四三号により備荒儲蓄金を以て補助貸与してもらいたい旨が書かれ、郡長にあてて出された。これら文書では明治一五年九月に庁（県）公第五〇号の書式により被害状況が報告されている。文書60には、元村一五人（内一人削除）神

◎安楽川村助役一覧（明治・大正期）

| 在職期間 | 氏名 |
|-----------------|-------|
| 明治22・6～同24・11 | 津田正朔 |
| 明治24・11～同28・3 | 室田溪助 |
| 明治28・3～同28・9 | 額田幾之助 |
| 明治29・9～同32・4 | （不明） |
| 明治32・4～同35・9(外) | 永西長修一 |
| 明治34・4～大正6・4 | 岡田孫太郎 |
| 大正6・5～同8・3 | 額田幾之助 |
| 大正8・3～同10・2 | 山下龜次 |

◎明治4年の村役人一覧（「安楽川村郷土誌」より）

| 村名 | 庄屋 | 年寄 |
|-----------|--------|------------|
| 加和村（青巖寺領） | 林謙之輔 | 乾龜之進・柳本重二郎 |
| 小路村（修理領） | 田端新左衛門 | 田中儀右衛門 |
| 小路村（碩学領） | 片山善四郎 | 永長三郎兵衛 |

◎明治12年の市場村・元村戸長 津田作之丞（市場村在住）

◎明治15年から17年の元村戸長 津田正朔（元村在住）
明治15年から17年の市場村戸長 津田友衛（市場村在住）

◎明治17年7月から明治22年3月までの段村・段新田村・市場村・元村・最上村・神田村・大原村・善田村・黒川村九ヶ村戸長
初代 堀内仙右衛門
二代 奥静夫
三代 奥政之助

◎安楽川村村長一覧（明治・大正期）

| 在職期間 | 氏名 |
|----------------|------|
| 明治22・5～同24・11 | 奥政之助 |
| 明治24・11～同28・11 | 田中正左 |
| 明治28・11～同29・9 | 竹田膳 |
| 明治29・10～大正元・10 | 田中正 |
| 大正元・10～同5・10 | 津室朔 |
| 大正5・11～同6・4 | 西奥 |
| 大正6・4～同8・3 | 西奥 |
| 大正6・4～同8・3 | 西奥 |
| 大正8・3～同12・3 | 額田 |
| 大正12・4～昭和2・4 | 山下 |

◎安楽川村収入役一覧（明治・大正期）

| 在職期間 | 氏名 |
|--------------|----------|
| 明治22・6～同23・1 | 竹中左膳 |
| 明治23・1～同26・4 | 奥田 |
| 明治26・4～同28・3 | 額田幾之助 |
| 明治28・3～同31・4 | 西津田 |
| 明治31・4～同34・3 | 津田徳太郎 |
| 明治34・4～同38・3 | 室谷岩之助 |
| 明治38・4～大正6・4 | 室谷茂（同上人） |
| 大正6・5～同8・4 | 飼馬文四郎 |
| 大正8・4～同9・8 | 森直三郎 |
| 大正9・9～同13・9 | 山名市太郎 |

◎安楽川村書記一覧（明治期判明のみ）

| 年（月日） | 氏名 |
|------------------|-----------|
| （不明）～明治31・4 | 津田徳太郎 |
| （不明）～同34・3 | 西岡孫太郎 |
| 明治31・4～同34・3 | 西岡谷 |
| 明治31・7～（同33・34？） | 西岩之助 |
| （明治33・34頃）～同39～？ | 西熊楠 |
| 明治34・5～同39～？ | 西茂雄（同上人カ） |
| （不明）～明治39～？ | 森直三郎 |
| | 磯 |

田村八人（内三人削除）段新田村二人が願ひ出、各自の調書を戸長が作成し、願書に付している。これらは郡長に出され、審査後貸与者が決定されている。文書63（明治一七年三月）によると、元村地租総額は金二一四八円九銭五厘、内一八六四円六四銭七厘が上納ノ分、金一四二円九四銭七厘が延納出願スベキ分、金六二円五九銭三厘が救荒規則ニヨリ補助貸与出願ノ分とある。また、文書64の同年の「食料及種穀料下付人名取調表」には一九人の元村人名が記されている。県法令によると、備荒儲蓄金は、明治一三年の第三一号布告に違ひ明治一四年からおこなわれている。この年明治一六年布第四三三號の備荒規則によると、この元となる公儲金は県内土地所有者より地租一〇円につき二二銭を徴収して儲蓄金の内半額を公債証書にして県庁に保管し、残額は県庁と郡役所に分儲、天災発生時には郡区長が罹災の実況と費用を県令に報告し、その被害状況判断により給与がおこなわれる。その他に地租の全額または幾分か補助や貸与もおこなわれるという制度である。

これに関連してこれ以前、明治一三年の村会の諮問議案で「凶荒予備蓄積」が前年県より出された「凶荒予備法設立につき達」「凶荒予備概則」をうけてとりあげられ（文書122他）ている。こちらは町村内人民の協議によつて年々若干の米穀を蓄積させる制度であった。

和歌山県では、この後明治二六年にもまた大旱魃がおきている。この時も地租補助や貸与願が村長から郡長あてに出されている（文書86〜91）。

この文書群の戸長役場文書中にも明治一五・一六年に備荒儲蓄金徴収の帳面が四点ある（文書34・36・51）。

村長の日誌について

明治大正期の村役場は、現在の市町村役場とはかなり違い、郡役所

の下に位置する機関であった。職員も少なくその仕事は直接地域とかかわるものであった。明治二二（一八八九）年に成立した安楽川村の役場は、村長・助役・収入役の三人に書記二（三人、使丁、時に見習いが一人いた程度である（文書他よりわかる当時の役場職員名を表1にまとめた））。

当時の役場業務についてはなかなかわからないが、この文書群中には津田正朔が村長を務めた期間の、毎日の役場業務を記した日誌があり、当時の村役場を知るてがかりとして重要である。現在のこつているのは、明治三一（一八九八）・三三・三四・三五・三七・三八・三九年のもので、毎年正月から日を追つて書かれている（文書102〜178、七冊）。その代表的内容をあげると、次のようになる。

明治三一年 衆議院議員選挙・村会議員半数改選・清潔法施行・農工銀行株主募集・軍隊行軍、明治三三年 紀ノ川の架橋一件（紀和鉄橋か？）・紀和鉄道工事（反抗運動他）問題、明治三四年 村会議員半数改選・河南大和往来県道へ編入請願運動一件・西郷板垣侯爵迎会出席・村債募集許可請願、明治三五年 学校舎新築一件・田中荘（村）との共有山境界問題・役場移転・コレラ発生・村議選挙、明治三七年 小学校合併増築・応募召集軍人関係・柘榴川堤防工事・大雨洪水被害・村議選挙、明治三八年 共有山境界・売却問題・徴兵・日露戦争関係・市場登記所新築一件、明治三九年 共有山問題・共有山郡植林一件・ベスト騒動・凱旋軍人優待会・堤防工事

明治三七年以降は日露戦争（明治三七〜三八年）中らしく徴兵や出征軍人餉別・軍人家族救護法など軍事に関するものが特に多い。他にも道路整備問題や河川井路問題・村会・税金関係・郡役場との行き来関係がよく出てくる。また、村の共有山・小学校建設問題などは、さらにそれだけに関する日誌も残る（文書146・133ともに明治三五年）。

この日誌類が業務として書かれたものか村長津田氏の私的覚書として書かれたのかはわからないが、年を経るに従って日誌中に津田氏個人の家や家族のことに関する記述が多く出てくる。また、初めは津田村長と表紙に書かれていた名前も津田扶桑園主人や松亭主人と書かれたりする。用紙も「安楽川村役場」用箋利用が、159番の日誌では「津田扶桑園」用箋を利用している。ただこれらを、公と私をきっちり分ける現在の文書と同じに考えることはできないし、その必要もないことではある。

ちなみに、津田正朔は明治二二年以前にも明治二一年の九ヶ村戸長役場時代に戸長代理を務めた時の日誌（文書72）を残している。

山論と共有山について

東・南に広大な山林がある安楽川村にとって、山林に関する問題は、近代以前から多く起こって来た。この文書群中に度々登場するのは、まず東隣の田中荘（現打田町）との山内境界問題である。田中荘とは中世から境界や山の帰属をめぐる争論がくりかえされ、近世には藩領対高野寺領ということで争論もややこしく、藩領田中荘側が勝訴している（宝永三〔一七〇六〕年）山論もあった。ここでは、明治二〇年代末に大字神田内鷹巣尾山持尾（安楽川村内神田・最上・元・市場共有）に田中村が従来の境界を越えた所に突然榜示をたて、安楽川側が驚いてその榜示を抜き捨てたことから山論となっている。この経過はわからないが、恐らく双方何度も話し合いを持った後、明治二九年（一八九六）年七月に田中・安楽川組合として三七条からなる「共有山取締規則」（文書99）を作成している。しかしその後も問題は絶えず、明治三五（一九〇二）年にはまた田中荘との境界争いが起きてくる（文書146・128の五月二五日～十二月）。田中村との争論はこの後も続き、大正期にも大きな騒動が起こっている。

ほかに山については、山論ではなく安楽川村四大字共有雨山（村の南側現美里町との境界）の那賀郡への貸付一件がある（文書146・165）。明治三九年一月一三日殖（植）林事業に雨山（大字最上字田鶴ノ木1363内144町4反余）を五〇年間貸付の仮契約書を村が郡に提出、二月二日には岡本郡書記が賃貸契約取替・地上権設定の登記申請のため来村した。村は同日村会を召集し、この件が可決された後契約となった（この時の契約書は『安楽川村郷土誌』に写されている）。翌日和歌山区裁判所市場出張所で登記を済ませ、同年四月一日より郡へ貸付られた。契約には借地代年五〇円以内、伐木時は代価の一〇〇分の二〇以内を共有土地管理者の安楽川村長に支払うとある。ともあれ郡は雨山に杉などの植林事業をおこない、大正一二（一九二三）年の郡制廃止後は賃貸契約・事業とも県に移管された。現在県はこの山に植林事業等はおこなっていない。また、現在この地番の土地は一六〇以上に分筆され、その多くは個人有地となっている。

津田正朔は明治三五年から明治三九年のこれらのことを（共有山）管理村長として一冊の日誌に詳細に記している（文書146）。これを見ると、田中村との境界争い、郡への雨山貸付一件がよく目に付くが、ほかにも調月村や現貴志川町・美里町域村との山内境界関係、共有山中に複数あった採石場・無許可採石関係などのことも書かれている。そして争論等の時だけでなく、共有山管理代表者として、毎年選出される委員（定員四名）と共に年数回定期的に村域山を歩いて見回り、境界榜示の移動の有無や採石場の状況等を調査していたことがわかる。

6 目録上の項目編成について

安楽川村文書IIの目録は、内容により以下の項目に分類して掲載した。なお、一文書でも複数の項目に関係する文書は、複数項目それぞれ

れに掲載している（一部欄外に注釈のみ加えた分もある）

近現代村文書

一、第三大区 「村」にも個人にも分類できないため独立項目とした。

①道路検査(明治6)二点。津田雄三郎が第三大区四五六小区役所より区内道路検査を任じられ、区内村々を調査した際の文書。

②安楽川井取締(明治7)10)三点。安楽川井は段新田・段・市場・加和小路(元)・上野(最上)・調月の各村に掛かる井堰で、近代初等には三等営繕所とされ区の管理下にあった。そんな中津田雄三郎は「安楽川井取締」を務めていた。文書のはとんどが三等営繕願で、第三大区小区用箋に書かれた控である。

二、元村・同地区関係文書(小路村・賀和村含む。「村」について)

①村一般(明治7)19)六点。

②学事(明治9)12)七点。津田雄三郎が学校世話係を務めた頃の文書。文書19は各戸より資本金を出させ、それを売った金を学校の費用にあてている文書だが、当時の学校の諸費用については、安楽川村文書Iの村会史料中にも出てくるが、そこでも不足費を寄付を募って補ったりしている。

三、明治17年以前の戸長役場文書(元・市場組合含)

①役場(備忘録・経費予算)九点。備忘録や会計帳など諸費に關するものと、諸税及進達類留記簿のようなものがある

が、点数が少ないので分けていない。

②諸費税取集 一九点。土木費年賦・地方税・備荒儲蓄金・諸税・営業税・協議費など多種の取り集めに関する文書があるが、点数が少なく、一冊で教種のことを取りあつかっているものもあるので、煩雑になるが細分類せず年代順にした。

③免租・救恤 一二点。ほとんどが明治一六年の旱魃被害によるもので、免租や救恤に関する文書である。

四、明治17年以降の戸長役場文書(九ヶ村戸長役場)

役場(明治17・21・22) 五点。明治一七年の戸長役場引き継ぎ時に元戸長が作成した諸帳簿引継目録帳、文書内容は重要ではないが九ヶ村聯合戸長役場と各村(との間)に置かれた関係の文書などの他に、明治二二年戸長が病気の時に代理を務めた津田正朝の役場業務の日誌があるのが興味深い。

五、安楽川村役場文書(明治22年)

①兵事(明治28) 一点。この帰宅兵病氣一件文書は一綴八通で、帰宅兵の病氣帰營日延期願に村長の証明書添付を求められ、本人と親族の書いた延期願と医者診断書、村長の書いた連隊本部あての証明書控からなる。

②土地・官有地(明治26)28) 三点。

③未納・救恤(明治23)29) 一点。明治二四・二六年の旱魃等による税金の未納人や補助願い人についての(資力・所得見込み・所有土地・被害状況などの)取り調べ文書が多い。またそれらの。多くは村長から郡長へ提出されている。

④村長日誌（明治31・33・34・35・37・38・39）七冊。これに

ついては別項で既に述べたが、当時の村役場を知る重要な史料である。また、簿冊は七冊だがそこに挟み込まれた文書が五〇点もある。これらの挟まれていた周辺の記述には、それに関するものが書かれていることが多い。

⑤共有山（明治29・35） 三点。田中村との共有山取締規則、村長の日誌は既述。村民二名から村長にあてた「質問書」（文書100）は、村が共有山内三町余を突然草木伐採禁止にしたことにつき、共有人民とあらかじめ協議もせず、村会にも掛けずに係員のみで決断したのは無効ではないかという事が書かれている。この決着は定かではないが、従来からの「村」の共有山のありかたと、町村制施行以後の共有山を考える手がかりとなる文書である。

⑥小学校建築（明治35） 一点。明治三五年からの小学校建築と、同四一年からの小学校増築の二工事について建築委員の任命から用地・費用・校舎内備品入札等につき書かれている。『桃山町史』によると、明治三六年には安楽川第一・第二小学校を統合。翌年同校の改築がおこなわれている。

⑦区裁判所建築（明治38） 四点。市場にあった和歌山区裁判所（登記所）庁舎の新築関係文書で、平面図・外見図も残っている。この新築費は、有志が株を買う金を宛てることになり、一株二五円で四〇株の（内二〇株は建築地の市場地区内で、残りを四株ずつ各大字が引き受け）株主を募集した。契約証や株主總會の史料も残る。

⑧その他（茶業組合・消防） 三点。茶業組合は、明治二七年九月の県訓令第三二六号で示された加入・未加入者調査関係

文書。消防は、村長あて出場手当領収証。六、その他文書 一点。所属項目年代不明文書。土地関係か。

津田家に関する文書

①家（近世文書を含む） 一三点。安政期からの家文書。点数も少ないので、細分類せずに年代順に並べた。ほとんどが金銭出納関係。文書75の雑書綴は、盗賊届・家督相続・金銭貸借関係・入嫁届等様々な津田家の近代文書が綴られている。明治二三（一八九〇）年の養蚕日誌があるが、正朔は自ら扶桑園主人と称し、村長時代の日誌にも役場業務関係の記述と共に自宅での養蚕についてのことを記していたりと、かなり力を入れていたようである。

②個人（政之） 四点。家文書中で津田政之に関する文書のみ異質であるので項目を別にした。政之は文久二（一八六二）年生で郡書記を勤めていたこともある。正朔との関係は不明だが弟であろうか。

③信仰・講 九点。信仰は寺院の堂修葺や建築関係。講は永栄講。

その他文書

一点。西岡あて日赤収納通知。日赤については、正朔の村長日誌中にも出てくる。

分類不明文書

一点。近代の金銭覚書

7 文書の整理と状態について

受け入れ時、すでに両文書群共古書店で形態や内容で分けられてお

り、原状はわからない。そのため整理にあたっては、大まかに分類後
その中で年代順に並べてからおこなった。状態については、一部に破
損や酸性化が見られるが、安楽川村文書Ⅰのような状態のものはない。
なお、一点の文書で複数の項目に属す文書は、複数項目に掲載して
いる（一部欄外に注釈を加えるのみにした部分もある）。また、文書
に挟みこまれたりくり付けられた状態のいわゆる枝番・孫番文書は、
利用に際しその関連性と伝来を重視する必要からも、親番文書と切り
放さずに並べている（一部例外あり）。

【紙について】 これは45ページを御参照下さい。

8 その他文書・参考文献

「明治廿三年度村税徴収元帳 安楽川村役場」一冊（個人蔵・未公
開）現所蔵者が平成八年古書店より購入。元は同一文書群か。

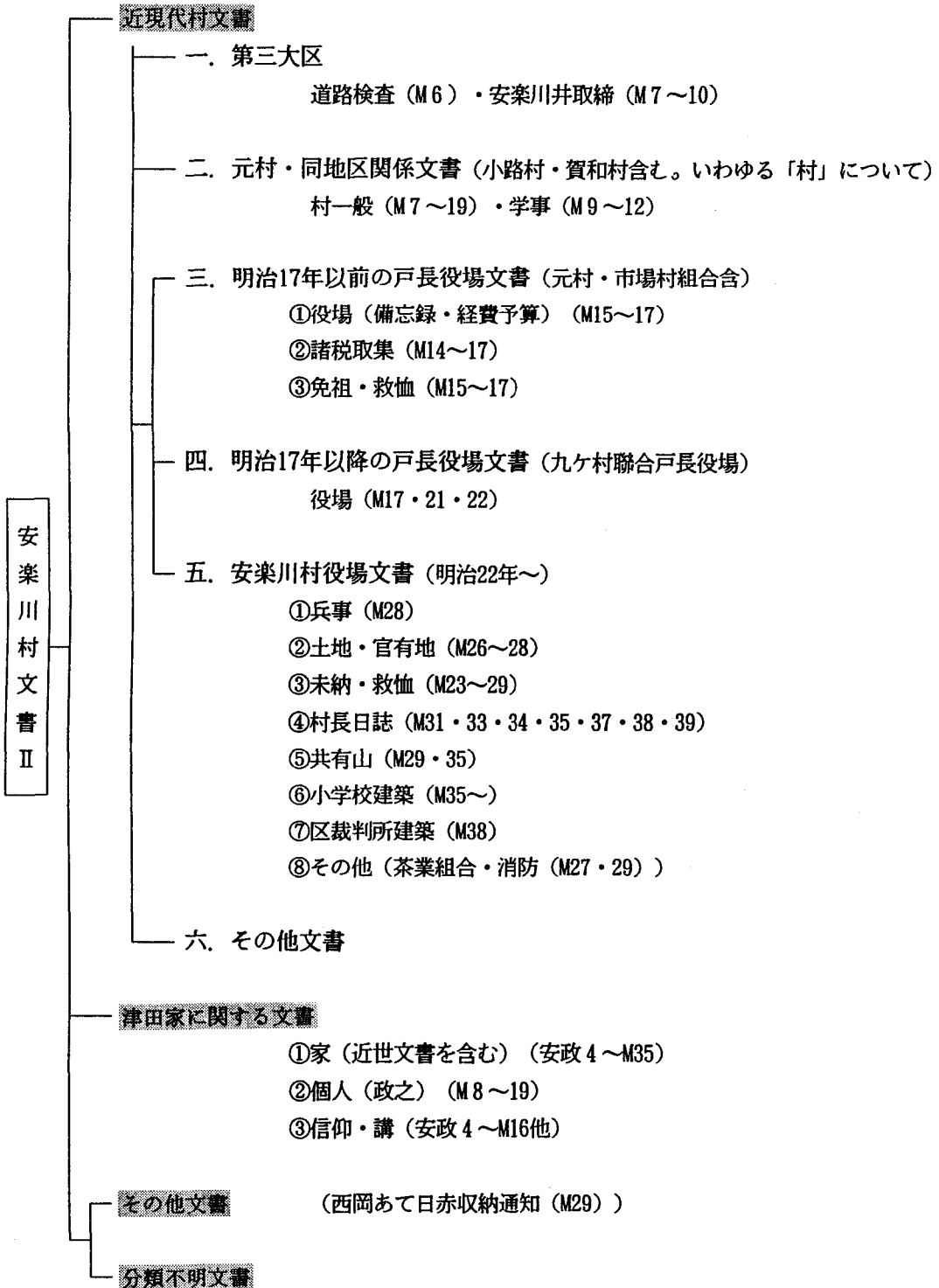
『安楽川村郷土誌』片山竹之助編（一九三〇年、未出版） 編者は
旧小路村庄屋であり元村村会議員であった片山善四郎の子息であり、
当時地域に残っていた様々な文書や記録をもとに執筆されている。こ
の解題執筆にあたっては、多くの部分で参考とした。この「安楽川村
文書ⅠⅡ」に属する文書が、この時史料の一部として使われたかどう
かは不明。

『桃山町誌』桃山町（昭和四七年）

『中世荒川荘現地調査報告書』 中世荒川（安楽川）荘の現地調査
を東京学芸大学日本中世史研究会が平成二（一九九〇）年よりつづけ
ておられ、すでに数地区については詳細な調査報告書（Ⅰ・Ⅱ）が出
ている。また、市場・元地区の調査も既に終了しており、間もなく調
査報告書（Ⅲ）も出される予定である。

※ 本目録作成にあたり平成七年一月に現地調査を実施し、元地区在住の
片山庸三氏（明治の元村村会議員片山善四郎家の子孫）・桃山町教育委員会
社会教育課課長鳥淵弘子氏の御協力をいただいた。また、東京学芸大学日本
中世史研究会の石原毅氏・中島敬子氏に電話・手紙により同会の調査・研究
成果につき、御教示いただいた。文書整理・現地調査・目録作成は鎌田和栄
がおこなった。

安楽川村文書Ⅱ項目



※M…明治

近現代村文書

一、第三大区

| 利用番号 | 標 | 題 | 整理番号 | 年 | 代 | 作 | 成 | 者 | 宛 | 名 | 形態 |
|------|---|------------------------------------|------|------------|---|-------------------------|---|---|---|-----------|-----|
| 12 | | 第三大区四ノ小区五ノ小区六ノ小区村々東西南北道路検査記 ※破損 | 12 | 明治6年2月 | | 津田雄三郎 | | | | | 横半形 |
| 11 | | 加和小路村市場村東西南北道路間教記 | 11 | 明治6年2月6日 | | 津田雄三郎 | | | | | 横半形 |
| 17 | | 〔安楽川井取り縮関係書類扣綴〕 ※一綴20通 | 17 | 明治7・8年 | | 第三大区五ノ小区安楽川井 取締津田雄三郎 | | | | | 綴 |
| 24 | | 三等宮繕願（安楽川井ニ付） ※安楽川井筋字山崎尻 | 24 | 明治10年5月20日 | | 第三大区五ノ小区安楽川井 取締津田雄三郎 | | | | 和歌山県令神山郡廉 | 綴一紙 |
| 25 | | 三等宮繕願（安楽川井ニ付） ※安楽川井口字ひりチノ雨詰の破損 | 25 | 明治10年11月 | | 第三大区五ノ小区安楽川井 取締津田雄三郎 | | | | | 綴一通 |

二、元村・同地区関係文書（小路・加和村含む。「村」文書）

①村一般

| | | | | | | | | | | | |
|-----|--|----------------------------|----------|------------|--|-------------|--|--|--|-------|----|
| 13 | | 両邨会議所普請諸入川帳 | 13 -1 | 明治7年4月 | | 津田雄三郎 | | | | | 横帳 |
| 14 | | 記（番家売払金ニ付） ※13-1の紐にくくり付 | 13 -2 | | | 田中 | | | | 津田雄三郎 | 一紙 |
| 187 | | 〔田畑収穫新段米麦割法・田方畑方租金他ニ付覚帳〕 | 187 | （明治8年4月以降） | | | | | | | 横帳 |
| 55 | | 山林原野村等調査費割帳 | 55 | 明治16年12月 | | 那賀郡元村（津田押印） | | | | | 横帳 |

| | |
|---|------------------|
| 54 | 70 |
| 〔日根郡下桑畑村あみだ寺へ仏像御観納願〕 | 明治十九年通常村会（戸割等級表） |
| ※前欠 | |
| 54 | 70 |
| 明治16年旧10月 | （明治19年） |
| 那が郡前田村日生田貞次郎、 佐本才兵衛、同郡元村世わ 人溝端金兵衛 | （元村村会） |
| 同郡荒川元村御役人衆中 | |
| 一紙 | 表 |

②学 事

| | | | | | | |
|----------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------|----------|------------------------|--------------------|
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 26 | 27 |
| 学校資本米受取并入費帳 | 口上（学校筋金返済受取ニ付）※金5円、19-1の紐にくくりつけ | 記（「掛図詳解」代金ニ付） ※40銭、19-1の紐にくくりつけ | 加和小学諸入費録（写） | 学校用諸道具扣帳 | 加和学校出納録 ^{（ア）} | 学校月々計算帳扣 |
| 19-1 | 19-2 | 19-3 | 22 | 23 | 26 | 27 |
| 明治9年1月 } 10年4月30日 | 子年旧12月29日 | 11月22日 | 明治9年2月 | 明治9年12月 | 明治12年6月 } 13年1月 | 明治12年6月 } 13年1月 |
| 加和学校世話掛り | 田中慎一郎 | 野田（村）大二郎 | （田中作成目録の写） | | | 世話係り津田雄三郎 |
| | 津田御氏 | 竹中 | | | | |
| 横帳 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

三、明治一七年以前の戸長役場文書（元村・市場村組合含）

①役 場

| | |
|----------|------------|
| 37 | 38 |
| 役場需用費会計帳 | 諸税及諸進達類留記簿 |
| 明治15年10月 | 明治15年10月 |
| 役場（元村） | 那賀郡元村戸長役場 |
| 横帳 | 横半帳 |

※最初の5丁コヨリにて閉

| | | | | | |
|-----------------|------------------------------|------------------------------|----------------------|------------------------|-------------------|
| 36 | 35 | 34 | 32 | 31 | 30 |
| 地方税第一期并ニ公儲金取附帳 | 明治十四年下半年分備荒儲蓄金取集帳 ※二冊一綴の下 | 明治十四年度下半年分備荒儲蓄金掛り ※二冊一綴の上 | 明治十四年度土木費年賦返納金地価掛取附帳 | 明治十四年下半年分地方税取附帳 但し地価係り | 土木費年賦返納地価掛り取集メ取附帳 |
| 36 | 34-2 | 34-1 | 32 | 31 | 30 |
| 明治15年7月 | 明治15年3月17日 | 明治15年3月17日 | 明治15年2月23日 | 明治15年1月27日 | 明治14年4月21日 |
| 那賀郡市場元村役場(津田押印) | 市場元村役場 | 那賀郡元村戸長役場 | 元村役場 | 那賀郡元村戸長役場、(津田押印) | 那賀郡元村戸長役場(津田押印) |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

②諸税費取集

| | | | | | | |
|----------------------------|-------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------|-------------|----------------------|
| 186 | 185 | 59 | 58 | 57 | 49 | 40 |
| 証(金銭借用ニ付) ※185-1の紐にくくり付 | 備忘録(地租差引他役場関係金ニ付) | 記「さけ・中飯代寛」 ※メ1円75銭、57-1の紐後にくくり付 | 記「さけ・中飯代寛」 ※メ2円1銭、57-1の紐前にくくり付 | 会計備忘録(役場業務ニ付) | 諸税并ニ進達類留記 | 備忘録(役場業務ニ付) ※日誌形式 |
| 185-2 | 185-1 | 57-3 | 57-2 | 57-1 | 49 | 40 |
| (明治) 17年 1月24日 | | 申年(旧)7月 | 5月21日 | 明治17年1月 | 明治16年9月~17年 | 明治15年11月 |
| 乾直輔 | 津田知事 | そは仙 | そは仙 | 津田知事 | 那賀郡元村戸長役場 | 那賀郡元村役場、(津田押印) |
| | | 村方 | 村方 | | | |
| 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横半 | 横帳 |

③ 免租・救恤

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------------------|--------------|-------------|----------------|-------------|-----------------------|---|---------------|------------------|----------------------------|
| 63 | 56 | 46 | 46 | 51 | 49 | 48 | 50 | 45 | 43 | 41 | 39 | 38 |
| 記(元村地租取調結果ニ付) ※元村地租総額金2148円99銭5厘 | 明治十六年下半年地方税戸数係り受取日計簿 | 明治十六年下半年協議費割帳 ※二冊一綴の下 | 明治十六年地方税并ニ協議費上半季分賦課帳簿 ※二冊一綴の上 | 拾六年度公儲金徴収取附簿 | 諸税并ニ進達類留記 | 地方税并ニ協議費戸数割取付簿 | 協議費集金ヨリ仕払帳簿 | 営業雜種税取付簿 ※反古紙裏利用帳面 | 明治十五年度第三期地方税中地価掛り并ニ公儲蓄金取付簿 ※反古紙裏利用帳面 | 明治十五年第二期協議費割帳 | 地券書換証印税其他諸營業税受取簿 | 諸税及諸進達類留記簿 ※最初の5丁コヨリにて閉 |
| 63 | 56 | 46-2 | 46-1 | 51 | 49 | 48 | 50 | 45 | 43 | 41 | 39 | 38 |
| 明治17年3月3日 | 明治17年1月21日 | 明治17年1月 | 明治16年 | 明治16年10月 | 明治16年9月~17年 | 明治16年8月11日 | 明治16年7月 | 明治16年1月 | 明治16年1月 | 明治15年 | 明治15年10月 | 明治15年10月 |
| 元村戸長津田正朔 | 元村戸長役場(津田押印) | 元村戸長役場(津田押印) | 那賀郡元村戸長役場(津田押印) | 元村戸長役場(津田押印) | 那賀郡元村戸長役場 | (役場、津田押印) | 戸長津田知事 | 那賀郡元村戸長役場 | 那賀郡元村役場、(いぬる押印) | (いぬる・津田押印) | 元村役場 | 那賀郡元村戸長役場 |
| 那賀郡長松山管吾 | | | | | | | | | | | | |
| 綴 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横半 | 横帳 | 横半 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横半 |

| | | | | | | |
|------------------------------------|--|-----|--------------|---------------------------------------|-----------|----|
| 68 | 元村諸帳簿引継目録帳 | 68 | 明治17年10月 | (元村役場) | | 横帳 |
| 四、明治一七年以降の戸長役場文書(九ヶ村聯合戸長役場) | | | | | | |
| 190 | 〔那賀郡元村旱害比較一件扣〕 | 190 | | | | 綴 |
| 67 | 十六年度第貳期地租割免除ヲ受クヘキ村計額取調書 | 67 | 明治17年6月9日 | 那賀郡元村戸長津田正朔 | | 一紙 |
| 66 | 開申(地租補貸願者中食料等受けざる者調ニ付) | 66 | 明治17年6月3日 | 元村戸長津田正朔 | 那賀郡長松山管吾 | 一紙 |
| 65 | 上申(第二期地租割金免除申請ノ村計金取調ニ付) | 65 | 明治17年6月3日・9日 | 那賀郡元村戸長津田正朔 | 郡長松山管吾 | 一紙 |
| 64 | 食料及種穀料下付人名取調表 ※附 那賀郡元村々々會議決報告戸数割賦課等級表(明治十七年下半季) | 64 | 明治17年5月 | 元村戸長津田正朔 | 那賀郡長松山管吾 | 綴 |
| 63 | 記(元村地租取調結果ニ付) ※元村地租總額金2148円99銭5厘 | 63 | 明治17年3月3日 | 元村戸長津田正朔 | 那賀郡長松山管吾 | 綴 |
| 62 | 〔救荒規則により金員下与者名達〕(人第三百九十九号) | 62 | 明治17年2月20日 | 那賀郡長松山管吾 | 元村戸長役場 | 一紙 |
| 61 | 救荒願(本年干ばつのため備荒儲蓄金貸与願) ※附 取付書 | 61 | 明治17年 | 那賀郡元村33人 | | 堅帳 |
| 60 | 救荒願(本年干ばつのため備荒儲蓄金を以て補助願) ※附 取付書 | 60 | 明治17年2月 | 那賀郡元村他4ヶ村26人、戸長津田正朔 | | 堅帳 |
| 53 | 窮民戸籍写し簿 | 53 | 明治16年10月31日 | 那賀郡元村戸長津田正朔 | | 堅帳 |
| 52 | 〔旱害被害者へ貸金寛書〕 ※横帳の1丁分 | 52 | 明治16年2月5日? | (役場) | | 一点 |
| 42 | 荒地年季願統一筆限取調帳(向う七年免税願) | 42 | 明治15年12月 | 那賀郡元村地主田端健三・林与祢・山入政右衛門、入作市場村地主竹中、戸長津田 | 和歌山県令神山郡廉 | 堅帳 |

| | | | | | |
|-----|--------------------------------|--------------------|---------------------|-----------------|----|
| 69 | 元村諸帳簿引継目録 但し諸器械附 | ※68とはほ同内容 | 明治17年10月 | 津田正朔 | 横帳 |
| 72 | 日誌(九ヶ村戸長役場業務ニ付) | ※津田戸長疾病欠勤ニ付役場事務代理 | 明治21年7月23日 10月8日 | 津田承知 | 縦帳 |
| 73 | (只今照会之趣ニ付回答) ※町村制組合諮問への回答に関する件 | (明治)1021年14日 | 用係り堀定八 | 市場村外八ヶ村戸長役場 | 一紙 |
| 74 | (野田原ニテ有公民権者増員ニ付記載書類綴) | 明治22年3月19日 4月6日 | 那賀郡元北村外八ヶ村戸長役場 | 那賀郡元市場村外八ヶ村戸長役場 | 綴 |
| 184 | 答申(御照会之件了承・印形四五日之間取揃ニ付) | 10月14日 | 最上村用係 | 市場(他八ヶ村)戸長役場 | 一紙 |

五、安楽川村役場文書

①兵事

| | | | | | | |
|----|-------------------|-------|--------------------|----------------------------------|-----------------|---|
| 94 | (「帰宅兵病氣ニ付帰營延期一件」) | ※一綴8通 | 明治28年1月24日 2月1日 | 安楽川村長津田正朔、本人、山名辰之助、医師(2名)、第二中隊本部 | 第八聯隊第二中隊、村長津田正朔 | 綴 |
|----|-------------------|-------|--------------------|----------------------------------|-----------------|---|

②土地・官有地

| | | | | | | |
|----|-------------------------------|------------|------------|---|-----------|----|
| 96 | (「安楽川村土地取調表」) | | 明治26年~同28年 | (安楽川村役場) | | 綴 |
| 85 | 官地借用継願 | ※川岸3筆、図面あり | 明治26年9月20日 | 借主大字神田、惣代松山(元吉、保証人2名、村長津田正朔、(奥書)那賀郡長小山) | 和歌山県知事沖守固 | 綴 |
| 95 | 官地借用願書取調ノ件(大字神田松山元吉官地借用継続願ニ付) | | 明治28年6月8日 | 那賀郡役所 | 安楽川村長津田正朔 | 一紙 |

③未納・救恤

| | | | | | | |
|----|------|--|------------|-----------|---------|----|
| 81 | 資力調書 | | 明治23年9月13日 | 安楽川村長津田正朔 | 那賀郡長小山漸 | 一紙 |
|----|------|--|------------|-----------|---------|----|

④村長日誌

| | | |
|-------------|---------------------|---------------------|
| 104 | 103 | 102 |
| 水費銭表記(取調結果) | (七月十九日)八月十日郡役所行他費用覚 | 日誌(役場業務二付) |
| ※102-1に挟み込み | ※102-1に挟み込み | ※挟み込み5点あり、以下へ |
| 102-3 | 102-2 | 102-1 |
| 明治31年6月15日 | 7月19日 8月10日 | 明治31年1月1日 12月28日 |
| (津田押印あり) | | 津田村長 |
| | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|----------------------------|--------------------|--------------|------------|---------------------|---------------------|--------------|---------------|-----------------------|
| 101 | 91 | 90 | 89 | 88 | 87 | 86 | 84 | 83 | 82 |
| 未納者人名(明治廿九年前半期分扣) | 那乙一第二五四三号(五名の備荒儲蓄金救助不認定通知) | (地租補助出願関係書類)(早害二付) | 地租貸与棄損金員人名報告 | 資力調査 | (地租補助願関係書類)(本年早魃二付) | (地租補助願関係書類)(本年早魃二付) | (七名二付所得調査書類) | (四名二付所得他取調書類) | (六名二付所得他取調書一件書類) |
| | ※コンニャク版 | ※附出願取消書類あり、一綴5通 | | ※5人分 | ※4人分、一綴11通 | ※7人分、一綴20通 | ※83に関連か | | ※一綴6通 |
| 101 | 91 | 90 | 89 | 88 | 87 | 86 | 84 | 83 | 82 |
| 明治29年 | 明治26年12月26日 | 明治26年10月 | 明治26年9月19日 | 明治26年9月13日 | 明治26年9月 | 明治26年9月 | 明治25年4月29日 | 明治25年4月25日 | 明治24年5月5日 6月17日 |
| (安楽川元村役場) | 那賀郡役所 | 地主惣代/村長津田正朔/那賀郡役所他 | 安楽川村長津田正朔 | 村長津田正朔 | 村長津田正朔 | 村長津田正朔 | 安楽川村長津田正朔 | (四名名前) | 那賀郡役所中谷第二科長/安楽川村長奥政之助 |
| | 津田安楽川村長 | 郡長小山漸/村長津田正朔 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 安楽川村長奥政之助/那賀郡役所中谷第二科長 |
| 綴 | 一紙 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|-------------|--------------------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------|---------------------|---------------------|-------------------------|------------------------------|
| 118 | 117 | 116 | 115 | 114 | 113 | 112 | 111 | 110 | 109 | 108 | 107 | 106 | 105 |
| 〔戸籍手数料領収書〕 | 〔名刺〕 | 〔津田正朔あて封筒〕 | 記(代金覚) | 日誌(役場業務二付) | 尚武会費未納人名 | 〔委員会のため役場へ出席依頼〕 | 〔回数覚〕(奥・室谷・森・有井の各人二付) | 領収証(大字最上有志家へ大麻分配人夫賃二付) | 記(止宿料覚) | 日誌(役場業務二付) | 〔書籍申込書〕(「新法典全書」) | 〔地租及地方税徴収金覚〕 | 〔年割金請取差引勘定書〕 |
| ※114―1に挟み込み | ※114―1に挟み込み | ※114―1に挟み込み、114―2の封筒か | ※金20円47銭3厘、114―1に挟み込み | ※挟み込み13点あり、以下へ | ※108―1に挟み込み | ※108―1に挟み込み | ※108―1に挟み込み | ※108―1に挟み込み | ※金1円、108―1に挟み込み | ※挟み込み5点あり、以下へ、口絵10 | ※102―1に挟み込み | ※102―1に挟み込み | ※102―1に挟み込み |
| 114―5 | 114―4 | 114―3 | 114―2 | 114―1 | 108―6 | 108―5 | 108―4 | 108―3 | 108―2 | 108―1 | 102―6 | 102―5 | 102―4 |
| 明治34年1月7日 | | 明治34年2月23日 | | 明治34年1月1日 12月30日 | | 33年3月9日 | 33年5月6日 34年2月27日 | 明治33年1月 | | 明治33年1月4日 12月29日 | 明治31年8月31日 | 31年11月26日 | 31年11月26日 9月26日 10月10日 |
| 安楽川村収入役津田徳太郎 | 和歌山県安楽川警察分署詰 巡查部長宮井清一 | 和歌山県那賀郡安楽川村大字津田徳太郎 | | 津田村長 | | 津田安楽川村長 | | 津田栄太郎 | 室溪 | 津田村長 | 和歌山県那賀郡安楽川村役場 | (那賀郡池田村役場)、 (津田押印あり) | |
| 津田正朔 | | | | | | 委員宮村貫一・堀内福一・千田納嶋(病欠)・西本次郎・奥信造(欠)・室谷徹 | | | | | 大阪市天神橋通二丁目九四番屋敷村井寅一 | | |
| 一紙 | 名刺 | 封筒 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 封筒 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|---|-----------------|---------------------|----------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------------|-------------------|-------------------------|
| 132 | 131 | 130 | 129 | 128 | 127 | 126 | 125 | 124 | 123 | 122 | 121 | 120 | 119 |
| [名刺] | [学校・役場下肥汲取請負入札] | [名刺] | 領受証(村長実費弁償金ニ付) | 日誌(役場業務ニ付) | [名刺] | [車輛検査烙印のため郡書記米場一件書付] | 歓迎会へ出席人名報告(西郷侯・板垣伯歓迎会ニ付) | [木字木・間縄・調査様帳簿下与依頼状] | 受領証書(小為替金ニ付) | [家改整理全権委任ニ付書状] | [銀行預入金書上] | 記(30・31・32年度金銭書上) | [名刺] |
| ※128 11に挟み込み | ※128 11に挟み込み、一綴6点 | ※128 11に挟み込み | ※128 11に挟み込み | ※挟み込み4通あり、以下へ | ※114 11に挟み込み | ※114 11に挟み込み、郡書記南条愛之助 | ※114 11に挟み込み、歓迎会は本月14日 | ※114 11に挟み込み | ※114 11に挟み込み、金3円 | ※114 11に挟み込み、インク書 | ※114 11に挟み込み、三井銀行他、鉛筆書 | ※114 11に挟み込み | ※114 11に挟み込み |
| 128-5 | 128-4 | 128-3 | 128-2 | 128-1 | 114-14 | 114-13 | 114-12 | 114-11 | 114-10 | 114-9 | 114-8 | 114-7 | 114-6 |
| | 明治35年5月17日 | | 明治34年9月 | 明治35年1月1日 12月30日 | | 来場(明治34年11月10日) | 明治34年10月9日 | 34年9月7日 | 明治34年4月 | 千九百一年3月21日 | 34年・35年 | 34年3月23日 | |
| 兵堀内定治郎 | 第四憲兵隊大坂憲兵分隊順 慶町憲兵屯所陸軍憲兵上等 一郎・室谷岩之助 | 津田栄太郎・西茂雄・森直 三郎・津田徳太郎・飼馬清 等兵岡本勇次郎 | 安楽川村長津田正朔 | 津田村長 | 宇都宮市私立弘象館出張員 平岡善吉 | | 安楽川村役場 | 調査掛り岡喜右衛門 | 紀伊安楽川郵便局 | 在米園林園知 | | | 帝国農事義会創建者農事視 察員牧野萬之助 |
| | (役場) | | 安楽川村収入役室谷岩之助 | | | | 那賀郡役所中野重任 | 安楽川役場中 | | 津田正朔 | | | |
| 名刺 | 綴 | 名刺 | 一紙 | 一紙 | 名刺 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 名刺 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------|-------------|-------------|----------------------------|-------------------------------|------------------------|-------------|----------------|------------------|-----------------------------------|----------------------|---|------------------------|
| 166 | 165 | 161 | 160 | 159 | 158 | 157 | 156 | 155 | 154 | 153 | 152 | 151 | 150 |
| 領収証(日赤年釀金ニ付) | 日誌(役場業務ニ付) | [薩代他書上覚] | 記(米代書上差引覚) | 日誌(役場業務ニ付) | [会則改定ニ付覚] | 証明書(硫曹肥料買取ニ付) | 記(受領金覚書) | 定(日雇賃・鋤賃・秋休ニ付) | 記(山林代払い込み残金返しニ付) | [宿名書付] | [再総会と組長・幹事欠員の事ニ付依頼状] | 御届(米国出稼人召集通報人ニ付) | 日誌(役場業務ニ付) |
| ※165-1に挟み込み | ※挟み込み13点、以下へ | ※159-1に挟み込み | ※159-1に挟み込み | ※表紙破損大、挟み込み2点、以下へ | ※150-1に挟み込み、何の 会か不明、コンニャク版 | ※150-1に挟み込み、印刷 | ※150-1に挟み込み | ※150-1に挟み込み | ※150-1に挟み込み | ※150-1に挟み込み、 「有馬温泉場奥ノ坊事浅野仙太郎宿」 | ※150-1に挟み込み | ※150-1に挟み込み | ※挟み込み8点、以下へ |
| 165-2 | 165-1 | 159-3 | 159-2 | 159-1 | 150-9 | 150-8 | 150-7 | 150-6 | 150-5 | 150-4 | 150-3 | 150-2 | 150-1 |
| 明治(30年代) | 明治39年1月1日 ~12月29日 | | | 明治38年 ~4月29日 ~12月31日 | | 明治38年2月12日 | 9月15日 | 明治37年旧11月5日 | (11月11日頃) | | 明治 1月24日 | 明治38年5月15日 | 明治37年1月~ 明治38年4月28日 |
| 日赤 | 津田村長 | | | 松亭主人 | | 硫曹肥料販売店安楽川村市 場津田徳太郎 | | 人民惣代 | 津田 | | 簡野勇蔵 | 安楽川村大字段明治29年徴 兵第二国民兵第一種歩兵田 口清一郎、通報人戸主田口 | 津田扶桑園(主人) |
| 賀郡赤十字社和歌山支部那 委員部一村分区委員 | | | | | | 津田正朔 | | | 田中 | | 津田正朔 | 和歌山聯隊区指令官陸軍 重兵中佐小川光正 | |
| 用紙 | 罫帳 | 一紙 | 一紙 | 罫帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一点 | 一紙 | 一紙 | 罫帳 |

| | | | | | | | |
|------|----------------------------|----------------------|--------|-----------------|------------------------|--------------|----|
| 99 | 共有山取締規則(田中・安楽川組合村) | ※印刷 | 99 | 明治29年7月6日 | 田中・安楽川組合 | | 綴 |
| ⑤共有山 | | | | | | | |
| 178 | 〔名刺〕 | ※165-1に挟み込み | 165-14 | | 和歌山県技手片平英夫 | | 名刺 |
| 177 | 〔名刺〕 | ※165-1に挟み込み | 165-13 | | 和歌山県農会技手前田虎吉 | | 名刺 |
| 176 | 安楽川村積立金・安楽川井関積立金 | ※165-1に挟み込み | 165-12 | 明治35年度 同38年度 | | | 一紙 |
| 175 | 〔名刺〕 | ※165-1に挟み込み | 165-11 | | 財団法人大阪汎愛扶植会委 員森田浅次郎 | | 名刺 |
| 174 | 〔金銭差引覚〕 | ※165-1に挟み込み | 165-10 | | | | 一紙 |
| 173 | 領収書(明治38年度□石採掘料) | ※165-1に挟み込み、金2円50銭 | 165-9 | 明治39年2月13日 | 那賀郡安楽川村長津田正朔 | 中西保太 | 用紙 |
| 172 | 〔鯨油老瓶郵送願書扣〕 | ※165-1に165-7と一緒に挟み込み | 165-8 | 明治39年3月23日 | 那賀郡安楽川村長津田正朔 | 東牟婁郡太地村長湯川武彦 | 一紙 |
| 171 | 〔鯨油購入運送代金延滞の件ニ付書簡扣〕 | ※165-1に165-8と一緒に挟み込み | 165-7 | 40年1月21日 | 安楽川村津田正朔 | 太地村役場内神前十太郎 | 一紙 |
| 170 | 〔先月依頼の鯨油の件ニ付再応願書〕 | ※165-1に挟み込み | 165-6 | 39年4月2日 | 安楽川村農会長津田正朔 | 東牟婁郡太地村長湯川武彦 | 一紙 |
| 169 | 〔県農第一一七号一のネーブル苗木云々ニ付取調回答書〕 | ※165-1に挟み込み | 165-5 | 明治39年3月23日 | 那賀郡安楽川村農会 | 和歌山県農会 | 一紙 |
| 168 | 郵便物受領証 | ※165-1に挟み込み | 165-4 | 39年1月22日 | 戸籍役場村長津田正朔 | 好村村長奥村利平 | 用紙 |
| 167 | 〔御照会の鯨油代価ニ付回答書扣〕 | ※165-1に挟み込み | 165-3 | 39年6月6日 | 那賀郡安楽川村津田正朔 | 東牟婁郡太地村役場 | 一紙 |

| | | | | | | | |
|-----|-----------------------------------|---------------------------------|-------|-------------------|--------|--------------------|----|
| 140 | 〔電柱用材代ニ付御回披願〕 | ※133―1に挟み込み | 133―8 | 明治43年3月1日 | 安楽川村役場 | 大和国吉野郡上市町大字阿知賀松村利平 | 一紙 |
| 139 | 学校舎建築費金記 | ※133―1に挟み込み、紫色エンピツ書 | 133―7 | | | | 一紙 |
| 138 | 〔金銭覚〕 | ※133―1に挟み込み、入札か？寄附か？ | 133―6 | | 佐野亀之助 | | 一紙 |
| 137 | 〔入札書〕（机・テーブル他ニ付） | ※133―1に挟み込み | 133―5 | | 吉田善之輔 | | 一紙 |
| 136 | 入札書（机・テーブル他ニ付） | ※133―1に挟み込み | 133―4 | 明治43年4月21日 | 佐竹正篆 | | 一紙 |
| 135 | 〔必要品覚書〕 ※133―1に挟み込み、授業台・裁縫用机・地図掛他 | | 133―3 | | | | 一紙 |
| 134 | 〔橋村席之助土地図〕 | ※133―1に挟み込み、大字市場字小松島、2枚、1枚エンピツ書 | 133―2 | | | | 一紙 |
| 133 | 小学校建築ニ係日誌 | ※挟み込み12点、以下へ | 133―1 | 明治35年2月 ～明治43年 | 津田村長 | | 一紙 |

⑥ 小学校建築

| | | | | | | | |
|-----|-----------------------------|--|-------|----------------------|---------------------------|-----------|----|
| 149 | 公有林中無願開墾畑調査記（共有山中ニ付） | ※146―1に挟み込み、エンピツ書、酸化進む | 146―4 | 明治43年5月2日・9日 | （津田村長） | | 横半 |
| 148 | 〔山地覚図〕 | ※146―1に挟み込み | 146―3 | | | | 図 |
| 147 | 〔金銭覚書〕 | ※146―1に挟み込み、一部エンピツ書 | 146―2 | | | | 一紙 |
| 146 | 日誌（共有山ニ付） | ※明治35年5月～翌年8月、明治39年1月～同10月分、挟み込み3点、以下へ | 146―1 | 明治35年8月、同39年5月～36年1月 | 管理者津田村長 | | 一紙 |
| 100 | 質問書（共有林を村が勝手に伐採禁止・新林とする件ニ付） | | 100 | 明治29年8月3日 | 安楽川村大字神田有井徳太郎・同村大字最上松田熊之助 | 安楽川村長竹中左膳 | 一紙 |

| | | |
|------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 97 | 93 | 92 |
| 証(失火・演習之節出場手当領収二付) ※一綴9枚、コンニャク版 | 〔茶業者組合加入・未加入者調査一件〕 ※一綴2通 | 那乙二第三一號 茶業者組合ニ加入スル調書差出方督促 ※コンニャク版 |
| 97 | 93 | 92 |
| 明治29年2月12日 | 明治27年11月22日・ 12月6日 | 明治27年11月19日 |
| 安楽川村消防手 | 安楽川村長津田正朔／安楽 川村大字段新田宮村貫一 | 那賀郡役所 |
| 安楽川村長竹中左膳 | 安楽川村大字段新田宮村貫 一／安楽川村長津田正朔 | 安ら川村長 |
| 綴 | 綴 | 一紙 |

⑧その他

| | | | |
|---------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--|
| 189 | 164 | 163 | 162 |
| 〔庁舎工事中当庁指定図面との相違点有二付忠告書簡〕 | 〔和歌山区裁判所市場出張所庁舎外見図〕 ※162-1に挟み込み | 〔和歌山区裁判所市場出張所庁舎平面図〕 ※162-1に挟み込み | 〔和歌山区才判所市場出張所庁舎新築一件書類〕 ※一綴8通、挟み込み2点、以下へ |
| 189 | 162-3 | 162-2 | 162-1 |
| 5月28日 | | | 明治38年12月8日 |
| 庄野貞道 ⁽²⁾ | 和歌山地方裁判所監督書記 | | 安楽川村長津田正朔 |
| 津田村長 | | | 各大字(市場・元・段・段 他 新田・最上・神田の内44人) |
| 一紙 | 図 | 図 | 綴 |

⑦区裁判所建築

| | | | | |
|--------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 145 | 144 | 143 | 142 | 141 |
| 〔名刺〕 | 〔代金覚書〕 ※133-1に挟み込み、大部分エンピツ書 | 玄関用瓦注文(請負書) ※133-1に挟み込み、2枚1通 | 請(学校敷地築立土砂運賃請求書) ※133-1に挟み込み | 証(学校要地築立請負保証金返戻金二付)※133-1に挟み込み |
| 133-13 | 133-12 | 133-11 | 133-10 | 133-9 |
| | | 明治43年3月28日 | 明治43年2月17日 | 明治43年2月15日 |
| 光太郎 | 和歌山県癩病予防吏員中村 | 井上留次郎 | 安楽川村大字市場磯政市 | 安楽川村大字市場竹中米太郎 |
| | | | 安楽川村長津田正朔 | |
| 名刺 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

六、その他

188 [垣内・個人別何かの高書上帳]

※表紙なし

188

横帳

津田家に関する文書

①家（近世文書を含む）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---------------------|------------------|----------------------|---------------------|------------------------------|-------------------|---------|-------------|------------|
| 33 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 1 |
| 火災見舞記 | 諸事扣帳（一人割・飯米・休日他二付） | 諸事扣（割木・飯米・休日他二付） | 土間二三間半部屋上湯殿両便所共諸入川扣帳 | 西氏江金銀出入扣帳 ※後欠、破損 | 西氏江金銀出入勘定帳 ※裏に「雄三郎上納筋」とあり | 蒸部屋灰部屋小門下側普請諸入用扣帳 | 長家普請勘定帳 | 歳中萬覚帳 金銀貸方扣 | 当座萬覚帳 |
| 33 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 1 |
| 明治15年3月7日 | 明治5年 | 明治5年正月 | 明治3年正月 | 慶応元年正月 | 慶応元年正月 | 元治2年2月 | 安政6年12月 | 安政5年5月 | 安政4年 |
| 津田正朔 | （表）津田近治良、 （裏）津田了 | 津田氏 | 津田雄三郎 | 津田雄三郎 | 津田雄三郎 | 津田雄三郎 | 津田雄三郎 | 喜多宇じ | 高野山ニ而津田雄三郎 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横半帳 | 横半帳 | 横帳 | 横半帳 |

| | | | | | | |
|----|--|------|--------------------|----------------------|------|----|
| 2 | 阿字四国霊場六拾八番小堂建立萬勘定帳 ※棟梁尾州住人瀬川八藏・家根職高野領神谷住伊兵衛 | 2 | 安政4年 | 津田雄三郎 | | 横半 |
| 71 | 履歷書 | 71 | 明治19年1月 | 那賀郡元村五拾壹番地津田政之 | | 一紙 |
| 29 | 同胞結義社緒言 ※筆跡28番と同一 | 29 | 明治13年9月 (脱稿) | | | 綴 |
| 28 | 与在東京津田勝之進君書 ※明治13年4月12日脱稿 | 28 | 己卯(明治) 12年3月 | 津田政之 | | 綴 |
| 18 | 国々産物名 ※表紙に「官許」と有り | 18 | 明治8年11月 | 和歌山県官下那賀郡第三大区五小区津田将之 | | 豎帳 |
| 80 | 養蚕日誌 | 80 | 明治23年4月 | | | 豎帳 |
| 79 | 津田良平家政收支計算書(支出・収入・借用二付) ※75-1に挟み込み、2枚 | 75-5 | 明治35年9月 | | | 一紙 |
| 78 | 家督相続譲り証書 ※75-1に挟み込み | 75-4 | 明治25年10月11日 | 津田雄三郎 | 津田正朔 | 一紙 |
| 77 | 委任状(地所書人登記請求事件二付) ※75-1に挟み込み | 75-3 | 明治23年9月8日 | 津田正朔 | | 一紙 |
| 76 | 委任状(地所登記出願二付扣) 75-1に挟み込み | 75-2 | 明治30年5月 | 津田正朔 | | 一紙 |
| 75 | 雑書綴(津田家二付) ※金銭貸借・盗賊・土地・地価関係ほか38件、挟み込み4点以下へ | 75-1 | 明治23年1月 明治30年8月 | 元津田 | | 豎帳 |
| 44 | 歳中会計簿 ※出之部、融通之部他 | 44 | 明治16年1月 明治18年 | 青松楼主人 | | 横帳 |

②個人(政之)

③信仰・講

| | | | | | | | |
|---------------|-----------------|----------------|-------|-------------|----------------------------|-----------------|----|
| 191 | 〔金銭覚〕 | ※横帳の1丁分 | 191 | (近代) 10月27日 | | | 一点 |
| 98 | 収納通知書 | | 98 | 明治29年5月25日 | 日本赤十字社和歌山支部那賀郡委員長小山漸 | 正社員安楽川村大字段西岡孫太郎 | 一紙 |
| 分類不明文書 | | | | | | | |
| その他文書 | | | | | | | |
| 183 | 杭入人足・永寿講掛分(覚帳) | ※179-1に挟み込み | 179-5 | (近代) | | | 一紙 |
| 182 | 記(粕右衛門・津田両家勘定扣) | ※179-1に挟み込み | 179-4 | (近代) | | | 一紙 |
| 181 | 遍照尊院分(掛け金差引覚書) | ※179-1に挟み込み | 179-3 | (近世末~近代) | | | 一紙 |
| 180 | 〔漢詩〕 | ※179-1に挟み込み、2枚 | 179-2 | | | | 一紙 |
| 179 | 〔永寿講関係帳〕 | ※挟み込み4点以下へ | 179-1 | (近世末~近代) | | | 一紙 |
| 47 | 那賀郡脇谷村本堂修補募縁 | ※附 良意講会規 | 47 | 明治16年3月 | 和歌山県下紀伊国那賀郡脇谷村良意山不動院脇谷寺良意講 | | 一紙 |
| 16 | 栄永講請取通 | ※人数三十式口 | 16 | 明治7年12月 | 世話人神田郎西芳輔(講親) | | 一紙 |
| 15 | 栄永講勘定帳 | | 15 | 明治7年12月 | 栄永仙右衛門・親津田勇三郎・同田中専左衛門) | | 一紙 |